



政務活動費収支報告書

平成 30 年 3 月 23 日

瑞穂町議会議長

小 山 典 男 様

議員名 下 野 義 子



平成 29 年度政務活動費について、次のとおり収支報告します。

- | | | | | |
|---|---------|----------------|---------|----|
| 1 | 収 入 | （政務活動費交付額 金 | 100,000 | 円） |
| 2 | 支 出 | （政務活動費支出額 金 | 120,016 | 円） |
| 3 | 添 付 書 類 | 支出に係る領収書等の証拠書類 | | |

平成29年度 政務活動費 収支報告書

議員名： 下野 義子

1 収 入

| 項 目 | 金 額 | 説 明 |
|-----------|-----------|-------|
| 政務活動費 (①) | 100,000 円 | 当初交付金 |

2 支 出

| 項 目 | 金 額 ※1 | 説 明 |
|-------------|-----------|--------|
| 調 査 研 究 費 | 96,124 円 | 支出内訳参照 |
| 研 修 費 | 14,028 円 | |
| 広 報 ・ 広 聴 費 | 円 | |
| 資 料 作 成 費 | 円 | |
| 資 料 購 入 費 | 9,864 円 | |
| 合 計 | 120,016 円 | |

| | |
|------------|--------------------------|
| 差引金額 (①-②) | △ 20,016 円 ^{※2} |
|------------|--------------------------|

※1 用途項目ごとに集計の上記載してください。

※2 差引金額に残余が生じた場合は、この金額を返還してください。
(差引金額が△(マイナス)の場合は返還の必要はありません。)

支出内訳

| 項目 | 適用及び内容 (視察の場合は日程及び場所を記入すること) | 支払金額 | 備考 |
|-------|---------------------------------|-----------|---------------------------|
| 調査研究費 | H29. 10. 23～25 見附市・新潟市・佐渡市 | 57,784 円 | 鉄道費、宿泊費、 レンタカー代など |
| 調査研究費 | H30. 1. 15～17 丸亀市・三木町・高松市 | 38,340 円 | 飛行機代、宿泊 費、レンタカー代 など |
| 研修費 | 自治体政策再生への処方箋 (第2回) | 7,014 円 | 交通費、参加費 |
| 研修費 | 自治体政策再生への処方箋 (第3回) | 7,014 円 | 交通費、参加費 |
| 資料購入費 | 西多摩新聞 | 9,864 円 | |
| | | 円 | |
| | | 円 | |
| | | 円 | |
| | | 円 | |
| | | 円 | |
| | | 円 | |
| | | 円 | |
| | | 円 | |
| | | 円 | |
| | | 円 | |
| | | 120,016 円 | |

視 察 報 告 書

議員名 : 下 野 義 子

1 期 間 : 平成 29 年 10 月 23 日 (月) ~ 10 月 25 日 (水)

2 参 加 者 : 小川 龍美 下野 義子 原 隆夫

3 視察先及び視察項目

| | 都道府県名 | 市町村名・施設名 | 視察項目 |
|-----|-------|----------|----------------------------|
| [1] | 新潟県 | 見附市 | スマート・ウエルネス・シティ (SWC) の取り組み |
| [2] | 新潟県 | 新潟市 | 食育の取り組み |
| [3] | 新潟県 | 佐渡市 | 認知症予防事業・エクサドンの取り組み |

4 視察報告

(1) 選定理由

- [1] 総合基本計画の都市の未来像に「スマート ウエルネス みつけ」を掲げて具体的な事業に取り組んでいた。
- [2] 食育・花育センターを活用し、食育の普及啓発を継続すると共に、実践に繋がる取組を実施していた。
- [3] 認知症予防事業として、和太鼓を中心とした健康増進・介護予防・認知症予防活動の取り組みを行っていた。

(2) 視察内容

- [1] 見附市では、「住みたい 行きたい 帰りたい やさしい絆のまち みつけ」として、「スマート ウエルネス みつけ」の実現に向け、取り組んでいた。
 - ①健康になれるまち・歩きたくなる道などの整備として自転車通行帯の整備、サイクリングロードの整備、ウォーキングコースの整備やコミュニティバスや乗り合いバスなどの地域公共交通の体系の整備
 - ②地域が元気な町・企業誘致・企業交流会の実施、地産地消・販路拡大、まち

なか賑わいやコシヒカリオーナー制度、見附とおき百選などの交流事業、地域コミュニティ組織の再編等、コミュニティの推進

③環境にやさしいまち・・・ごみの減量化、廃食油の回収、学校の太陽光発電装置設置、YM菌による生ごみ実証実験

④健幸を理解し行動・・・医師会と共催での講演会、健幸フェスタ、人間力を育む「四つ葉運動」、ふるさと見附を愛する子どもを育てる共創郷育など

これらの取り組みの他、健幸に関する条例を定め、それに基づく計画に沿って、高齢者の閉じこもりを防ぐためにも、外出を促す、スマート ウェルネス シティ・みつけ（SWC）施策を進める拠点整備も計画的に進めていた。

[2] 新潟市では食育・健康づくりを市民運動として広がることを目指し、平成18年に推進室を設置。翌19年には食育推進条例を制定し、周知と共に、積極的な取り組みを推進。23年には「食育・花育センター」を建設、オープンし、ここを拠点に事業を展開。「食育の日」協力店登録事業、食育・花育マスター制度、体験プログラム、わくわく教育ファーム推進事業、味覚体験プログラムの開始、料理教室（子ども向け、大人向けなど様々）など、新潟の豊かな食材を活用した、楽しく学び、楽しく食する取り組みを展開していた。

[3] 佐渡市では東北大学の川島隆太教授のアドバイスを基に、読み書き計算を取り入れた「しゃきっと教室」和太鼓を使った認知・介護予防事業エクサドンを実施していた。市民ん身近な和太鼓と伝統芸能を予防事業として取り入れ、医療・太鼓集団・行政の協働で進めていた。エクサドンはファシリテーターの太鼓の打ち方をまねることからスタートし、同じたたき方を隣に伝える回覧ゲームなど、市民が自らエクササイズを進めていく教室を運営していた。楽しく脳トレ、体力アップ、に繋がり、成果を上げていた。

(3) 町にどのような提言ができるか

[1] 縦割りの事業推進でなく、各課連携し、横軸を重視した、総合的にまちづくり、健康づくり、高齢者の介護・認知予防事業の取り組みを展開すべき。住民の力を活かし、健康寿命の延命に繋げ、費用削減にもつなげていく効果があると考えます。

[2] 給食組合事業に任せるのではなく、教育機関（学校）のみならず、町全体で意識啓発、産業化との連携など、もっと充実した事業を展開すべき。

[3] わが町にもある唐獅子太鼓などの団体との協働で、和太鼓を活用した認知症等予防事業、エクサドンを、早々取り組むべき。

5 旅 費 :

| 月日 | 鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所 | 円 鉄 路 | 円 特 急 | 円 飛 行 機 | 円 車 両 (バス等) | 円 レ ン タ カ ー (借上料) | 円 そ の 他 | 円 宿 泊 料 |
|-------|---------------------|----------|----------|------------|-------------------|-------------------------|------------|------------|
| 10/5 | 旅費 | 11,990 | 9,580 | | 11,300 | | 500 | 19,460 |
| 10/23 | JR (箱根ヶ崎-拝島) | 190 | | | | | | |
| | タクシー代 (見附駅-市役所) | | | | 256 | | | |
| 10/24 | タクシー代 (新潟駅-食育センター) | | | | 463 | | | |
| | タクシー代 (食育センター-佐渡汽船) | | | | 677 | | | |
| 10/25 | レンタカー代 | | | | | 3,038 | | |
| | タクシー代 (新潟港-新潟駅) | | | | 330 | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 小 計 | | 12,180 | 9,580 | | 13,026 | 3,038 | 500 | 19,460 |
| 合 計 | | | | | | 57,784 | 円 | |

6 交通費 : ガソリン代 円

有料道路通行料 円

駐車場代 円

計 円

7 手数料 : 円

8 保険料 : 円

9 資料代 : 円

10 その他 () : 円

総 合 計 57,784 円

視 察 報 告 書

議員名 : 下 野 義 子

1 期 間 : 平成 30年 2月 15日 (木) ~ 2月 17日 (土)

2 参 加 者 : 小川 龍美 下野 義子 原 隆夫

3 視察先及び視察項目

| 都道府県名 | 市町村名・施設名 | 視察項目 |
|---------|----------|-----------------------|
| [1] 香川県 | 丸亀市 | 介護予防の取り組みについて |
| [2] 香川県 | 三木町 | 子育て支援に取り組むについて |
| [3] 香川県 | 高松市 | 子ども未来館 (こどもミライエ) 現地視察 |

4 視察報告

(1) 選定理由

- [1] 健康体操を活用し、地域ぐるみの介護予防事業に取り組んでいた。
- [2] 子育て日本一を掲げ、三木町版ネウボラ事業に取り組んでいた。
- [3] 子ども支援に特化した複合施設「子ども未来館 (こどもミライエ)」を建設。

(2) 視察内容

- [1] 丸亀市では介護保険事業計画の基本理念「高齢者が生きがいを持って 安心して自分らしく生活できるまちづくり」を目指し、4つの仕組みづくりで具体的施策に取り組んでいた。その中で、今回視察した「高齢者がそれぞれの介護予防に取り組める仕組みづくり」では、地域づくりによる介護予防の推進、一般介護予防事業の充実、地域ぐるみの自主的な健康づくり活動、生活習慣病重症化予防の推進、口腔ケアの推進に取り組んでいた。

地域づくりでは高知市の「いきいき百歳体操」を参考に、100g単位で調整可能なおもりを付けて、週1回のペースで基本的な体操をゆっくり行う「元気いっぱい!長生き体操」を住民が主体的に実施。更に、専門家が定期的に身体・精神面の評価・指導を行うことで、効果が確認でき、継続につなげていた。

一般介護予防事業では転倒予防の「ころばんぞ~教室」、椅子を使った「からだ楽しく教室」、身近に取り組める「介護予防のための体操教室」と高齢者自らが予

防体操指導者となって行う「しゃんと体操」を実施。

地域ぐるみの自主的な健康づくり活動では、コミュニティ（小学校区）単位で認知症講演会、相談会を行うなど、地域ぐるみでワーキンググループで企画を考え、運営委員会で提案し、具体的事業を地域で実践。

口腔ケアの推進では、歯科医師会に委託して、集団で楽しく学べる教室を市内6会場で開催。啓発は口コミで、大きく拡大。

住民が主体的に意識も高く、積極的に取り組める工夫がなされていた。

- [2] 三木町では「子育て日本一」と銘打って子育て支援に取り組んでいた。妊娠前から子育てまで、切れ目のない母子支援、三木町版ネウボラ事業を実施。妊娠前の支援では、全中学3年生対象に「性感染症」「妊娠」についての授業を行う思春期教育、特定不妊治療費助成事業を実施。妊娠期は健診助成の他、両親学級や妊婦訪問を実施。出産後は乳児家庭全戸を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」、母体ケア・乳児ケアや授乳・沐浴指導などを行う産後ケア事業、集いの場「ママカフェ」の他、乳児健診事業では5歳児健診も実施。さらに、子育てホームヘルプサービス事業、専門家（産婦人科医・助産師）による相談事業、病児・病後児保育、子育て支援券（第1・2子1万円、第3子20万円）の配布など、あらゆる支援が施されていた。

今後は地方創生総合戦略「まんで願大作戦」として「三木町まんで願いきいきパーク（仮称）」の建設に着手。高松市の「こども未来館（ミライエ）」を参考に、町民が世代を超えて集い、コミュニティが支える子育てとまちづくりの拠点としたいとしていた。

- [3] 高松市では、28年11月、市民文化センター跡地に子ども未来館を建設。「子ども・子育て支援」「学習体験」「市民交流」機能を有した拠点として、科学展示室やプラネタリウム、プレイルームなどを設置して、学びと遊びで子どもの創造力や探求心を育むプログラムを提供すると共に、平和祈念館、図書館、男女共同参画センターを併設し、子どもから大人まで幅広い世代の人々が多様な関わりを持ち、交流とにぎわいを生み出していた。

(3) 町にどのような提言ができるか

- [1] 住民が地域や近隣のつながりを通して、自主的に健康づくりに取り組む施策は大変有益である。そのための仕掛け、工夫を研究し、わが町でも推進すべき。
- [2] 町は、30年度、産前・産後サポート事業、産後ケア事業にも取り組み、子育て包括支援事業が進められるが、更に、妊娠前の教育事業にも着目し、研究すべきである。また、施策が住民にしっかり認識され、活用されるよう、更なる周知に取り組むべき。
- [3] わが町で、複合施設の建設は課題も多く、厳しいと考えるが、子育て、教育、世代間交流など、複合的な事業の展開、効率的な事業の展開については更に研究すべき。

5 旅 費 :

| 月日 | 鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所 | 鉄 路 | 特 急 | 飛 行 機 | 車 両 (バス等) | レンタカー (借上料) | その他 | 宿 泊 料 |
|------|--------------------|-----|-----|-------|--------------|----------------|-----|--------|
| 1/25 | 飛行機代・宿泊費 | | | | | | | 36,800 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 小 計 | | | | | | | | 36,800 |
| 合 計 | | | | | | 36,800 | 円 | |

6 交通費 : ガソリン代 481 円

有料道路通行料 393 円

駐車場代 666 円

計 1,540 円

7 手数料 : 円

8 保険料 : 円

9 資料代 : 円

10 その他 () : 円

総 合 計 38,340 円

研修会等参加報告書

議員名 : 下野 義子

1 研修会名 : 自治体政策再生への処方箋 (第2回)
(開催場所 (株) 図書館総合研究所)

2 期間 : 平成29年 8月 8日 (火) ~ 日 ()

3 参加者氏名 : 下野 義子

4 研修等の概要 :

自治体経営の進化に向けた理論と実践について、北海道大学法学研究科・公共政策大学院教授の宮脇淳教授の講義を伺った。

今回は、自治体経営の予算を執行する上での財源について講義を受けた。自治体は政策評価結果を基に予算編成等を行うが、結果をどのような視点で見るとするかについては、費用対効果を鑑みて予算に反映させるとする合理的形成仮説の場合と評価を行政内部又は住民への情報共有的性格を強く認識し、直接的に予算反映しない組織的形成仮説があるとされる。

経営の基盤となる財源をどうするのかとの点については、経済・市場(民間領域)、政治・財政(公的領域)の二つの面があり、互いに利点、課題があることから、官民協働、補完し合うことが必要である。さらに、地域・コミュニティは地方自治の土台であることから、代表制の充実、住民自治の充実も大切である。自治体の状況によって、そのどこに重点を置き、バランスを図るかが大切であると学んだ。

5 旅 費 :

| 月日 | 鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所 | 円 鉄 路 | 円 特 急 | 円 飛 行 機 | 円 車 両 (バス等) | 円 レンタカー (借上料) | 円 そ の 他 | 円 宿 泊 料 |
|-----|--------------------|----------|----------|------------|-------------------|---------------------|------------|------------|
| 8/8 | 箱根ヶ崎－茗荷谷 | 1,007 | | | | | | |
| | 茗荷谷－箱根ヶ崎 | 1,007 | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 小 計 | | 2,014 | | | | | | |
| 合 計 | | | | | | | | 2,014 円 |

6 交通費 : ガソリン代 円

有料道路通行料 円

駐車場代 円

計 円

7 資料代 : 円

8 出席者負担金・会費 : 5,000 円

9 その他 : 円

総 合 計 7,014 円

研修会等参加報告書

議員名 : 下野 義子

1 研修会名 : 自治体政策再生への処方箋 (第3回)
(開催場所 (株)図書館総合研究所)

2 期間 : 平成 29年 8月 23日 (水) ~ 日 ()

3 参加者氏名 : 下野 義子

4 研修等の概要 :

行政マネジメントシステムをいかにして進化させるかについて、北海道大学法学研究科・公共政策大学院教授の宮脇淳教授の講義を伺った。

今回は、自治体で作成される計画等についての課題とポイントについて講義を受けた。そもそも論として、計画作成にあたっての必要事項 (①目的の公理、正義、②目標の時期、内容の明確化、③達成のための効率化、④計画の持つ重要リスクの明確化)を確認。次に、企画型なのか、需要型なのか、個別事業計画なのか、またこれらを合わせた総合計画なのかの分類の認識。ここには政治リスクへの対応にはおのずと限界があるとの事。策定に向けてのプロセスでは、庁内策定型、住民参加策定型があるがそれぞれに課題があり、それを踏まえて行うことが必要。特に、住民参加の場合、情報を得るといった視点で行うことが好ましい。更にコスト (負担) の見える化が大切であるなどのポイントを学んだ。また、評価の本質についても語られた。計画等の作成案が出された時に、少しでも、活かすことができればと考える。

5 旅 費 :

| 月日 | 鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所 | 円 鉄 路 | 円 特 急 | 円 飛 行 機 | 円 車 両 (バス等) | 円 レンタカー (借上料) | 円 そ の 他 | 円 宿 泊 料 |
|------|--------------------|----------|----------|------------|-------------------|---------------------|------------|------------|
| 8/23 | 箱根ヶ崎ー茗荷谷 | 1,007 | | | | | | |
| | 茗荷谷ー箱根ヶ崎 | 1,007 | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 小 計 | | 2,014 | | | | | | |
| | | 合 計 | | 2,014 | | 円 | | |

| | | | | | |
|---|-----------|---|---------|-------|---|
| 6 | 交通費 | : | ガソリン代 | | 円 |
| | | | 有料道路通行料 | | 円 |
| | | | 駐車場代 | | 円 |
| | | | 計 | | 円 |
| 7 | 資料代 | : | | | 円 |
| 8 | 出席者負担金・会費 | : | | 5,000 | 円 |
| 9 | その他 | : | | | 円 |
| | | | 総 合 計 | 7,014 | 円 |